

令和6年度

茨城県教育委員会委員

学校視察報告書

令和6年度教育委員学校視察校一覧

視察校	視察日	出席委員	視察内容	ページ
つくば市立並木中学校	令和6年7月8日(月)	中庭委員 市原委員	・学級活動を中心とした「並木哲学タイム」を実施 ・年7回の全校哲学タイムの時間を設け「聞く力」「質問力」の向上等、それぞれの時間ごとに目標を焦点化しながら実施 ・教科の学習においても対話を重視し、グループ活動やペア活動に対話を取り入れ、協働的な学びを展開	1
県立美浦特別支援学校	令和6年7月9日(火)	中田委員	・研究実践を通じて、知的障害特別支援学校における生活科・理科教育の充実を図っている。	2
学校法人鹿島学園 鹿島学園高等学校	令和6年9月5日(木)	中庭委員 庄司委員	・進路、興味に応じたグローバル・進学・芸術の3つのコースを設置し、能力・才能を伸ばす個性化教育を実践 ・知識に偏らない「論理的思考力の育成」に取り組み、独自の「カシメソッド」による思考力を養う論理的授業を展開 ・学習と部活動の両立を目指し、男子サッカー部や野球部など全国大会で活躍している部活が多数存在	3
鹿嶋市立高松小学校 鹿嶋市立高松中学校	令和6年9月18日(水)	中庭委員	【施設一体型小中一貫校】 ・9年間の連続した学びを通して「確かな学力」と「豊かな人間性」を育んでいる。 ・9年間を見通した教育課程の編成や、中1ギャップの解消、教員の相互乗り入れ、小学校における教科担任制部、活動体験を実施	4
県立水戸工業高等学校	令和6年9月25日(水)	中庭委員	・いばらきP-TECHの実施 ・図書館の充実	5
取手市立取手西小学校	令和6年10月17日(木)	富田委員 幡谷委員	・CO2削減量を数値化して示すなど、先進的な取組を実施（脱炭素チャレンジカップ環境大臣賞受賞） ・取手市の施策であるサステナブル学習プロジェクトに取り組み、残食の肥料化による再利用や脱炭素チャレンジ広場への植樹など、児童の主體的な取組みを推進 ・学校全体で継続して環境教育に取り組んでおり、SDGsをテーマとした探究的な学びを推進	6
県立太子特別支援学校	令和6年10月22日(火)	富田委員 幡谷委員	・知的障害特別支援学校（中学部）では、年間を通じて地域資源の「太子櫓（こうぞ）」を取り扱う自然体験活動を設定。職業・家庭における資質・能力の育成に資する教育活動を展開	7
県立結城第一高等学校	令和6年10月24日(木)	富田委員	・外国籍生徒支援の充実 ・つむぎ部の結城紬探究	8
県立海洋高等学校	令和6年11月12日(火)	富田委員	・ベトナムからの水産教育視察 ・マサバの養殖	9
潮来市立津知小学校	令和6年11月14日(木)	幡谷委員	・校長のリーダーシップの下、小規模校の特性を生かし、地域との連携や学力向上に取り組んでいる。 ・働き方改革に当たり、教育課程編成において午前中に40分の5時間授業を実施。独自の週時程により、下校時刻を早めて教員の研修や授業準備時間の創出に取り組んでいる。	10
県立勝田中等教育学校	令和6年11月15日(金)	幡谷委員	・「未来探究コンソーシアム」の構築 ・国際教育の充実	11
常陸太田市立瑞竜中学校	令和6年11月19日(火)	幡谷委員	・中学校区に児童養護施設があり、特別な支援が必要な生徒や配慮を要する生徒が多く在籍しており、児童養護施設、市教育委員会、警察、児童相談所、市福祉課などの関係機関と連携して生徒指導を進めている。	12
北茨城市立常北中学校	令和6年11月29日(金)	幡谷委員	・校内教育支援センターを設置し、不登校児童生徒支援教員を中心に全職員で不登校生徒の支援に当たっている。R4と比較し、R5の不登校出現率が減少	13
水戸市立千波中学校	令和7年2月12日(水)	富田委員 庄司委員 伊藤委員 森委員	・令和5年度より校内フリースクールを開設し、不登校対策を推進。令和6年度からはパイロット校として、一層の推進を図っている。	14
城里町立常北中学校	令和7年2月13日(木)	富田委員 庄司委員 伊藤委員 森委員	・校長がリーダーシップを発揮し、町の行政とも連携しながら、不登校対策（校内フリースクール、データをもとにした対応）を推進	15
県立太子清流高等学校	令和7年2月19日(水)	庄司委員 森委員	・太子町の支援により、令和5年9月に学校の合宿所に公営塾「ことのば」を開塾し、学校と連携し、個々のレベルに合わせた学習支援・進路指導を実施 ・豊かな自然や多様な産業を活用し、町全体を学びの場として、ここではない実践的・体験的な学びを展開	16

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	桜並木学園 つくば市立並木中学校
2 視 察 日	令和6年7月8日（月）
3 視察委員	委員 中庭 陽子 委員 市原 健一
4 出 席 者	校長 額賀 敏行 教頭 高崎 満 教諭 横山 賢裕 ほか (つくば市教育委員会) 指導主事 市原 猛 (県南教育事務所) 学校教育課主査 丸山 洋子
5 日 程	10:20～10:35 学校概要説明等 10:40～11:30 授業参観 11:35～12:15 学校職員との意見交換会
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○施設見学  ○学校職員との意見交換会 
7 感 想 等	・学級活動を中心とした「並木哲学タイム」を実施し、「聞く力」や「質問力」など対話力の向上を図っていました。 ・他の発言を否定しないといったルールを設定し、「『ふつう』ってなんだろう？」というテーマについて、自分なりの「ふつう」を真剣に考えている生徒の姿が印象的でした。 ・正解のない「問い」に対して自由に話せる哲学的対話に挑戦し、自己肯定感や自己有用感の向上にもつながってほしいです。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立美浦特別支援学校
2 視 察 日	令和6年7月9日（火）
3 視察委員	委員 中田 俊之
4 出 席 者	校長 鈴木 和子 副校長 加固 友衛 教頭 川邊 聖子 ほか
5 日 程	10:10～10:30 学校概要説明等 10:30～11:30 授業参観 11:30～12:00 学校職員との懇談、意見交換会
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○学校職員との意見交換会 
7 感 想 等	・研究実践を通じて生活科や理科教育の充実を図っていました。 ・子供たちの生活を豊かにする生活科と理科の授業づくり「チャレンジ2024 科学へホップ！ステップ！ジャンプ！Inみほとく」の取組についてお話を伺いました。 ・教職員がアイデアを出し合い、外部講師と連携したワークショップや、子どもたちの「わくわく」を応援するイベントを企画するなど、教職員が情熱をもって取り組んでいる姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	学校法人鹿島学園 鹿島学園高等学校
2 視 察 日	令和6年9月5日(木)
3 視察委員	委員 中庭 陽子 委員 庄司 一子
4 出 席 者	理事 鈴木 雅人 校長 常井 安文 教頭 海老澤 幸輝 教頭 上田 一之 事務長 田口 智子 ほか (私学振興室) 主査 坪井 麻紀子
5 日 程	12:40～13:20 学食 13:30～14:20 学校概要説明・学校職員との懇談 14:20～15:30 授業参観 15:30～16:30 部活動見学・留学生との懇談
6 視察状況	○学食  ○授業参観  ○留学生との懇談  ○学校職員との意見交換会 
7 感 想 等	・進路、興味に応じたグローバル・進学・芸術の3つのコースを設置し、能力・才能を伸ばす個性化教育を実践されていました。 ・学生寮や食堂、部活動設備などが充実し、また、生徒への親身な指導で、留学生を含めた生徒や保護者が安心して学べる場を提供されていました。 ・生徒からの元気なあいさつや、将来に希望をもって学習している留学生の姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	鹿嶋市立高松小学校 鹿嶋市立高松中学校
2 視 察 日	令和6年9月18日(水)
3 視察委員	中庭 陽子 委員
4 出 席 者	校長 木嶋 剛 教頭 平山 美穂子(高松小学校) 教頭 志藤 幸也(高松中学校) ほか (鹿嶋市教育委員会) 教育長 川村 等 教育指導担当参事兼課長 内野 武 (鹿行教育事務所) 学校教育課長 永尾 剛
5 日 程	10:00~10:15 学校概要説明 10:20~11:10 授業参観等 11:15~12:00 学校職員との懇談など 12:10~12:55 給食
6 視察状況	○施設見学  ○授業参観(小学校)  ○授業参観(中学校)  ○小学校1年生との学校給食 
7 感 想 等	・施設一体型小中一貫校として、9年間の連続した学びを通して「確かな学力」と「豊かな人間性」を育てていました。 ・小中連携により、教員の相互乗り入れや小学校における教科担任制などを取り入れるとともに、公民館などとの積極的な連携により、地域の特色を生かした特別活動を展開されていました。 ・管理職を中心した声かけにより、児童生徒や教職員の笑顔があふれ、明るい雰囲気が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立水戸工業高等学校
2 視 察 日	令和6年9月25日（水）
3 視察委員	中庭 陽子 委員
4 出 席 者	校長 久松 政信 副校長 平間 和雄 教頭 木村 斉久 ほか
5 日 程	13:00～13:15 学校概要説明 13:20～13:35 図書館視察 13:35～14:50 授業参観 15:00～15:30 学校職員との懇談
6 視察状況	○授業参観（電気科）  ○授業参観（機械科）  ○授業参観（建築科）  ○図書館視察 
7 感 想 等	・ ITに関する知識や技術を身につけ、生涯にわたって社会で活躍するIT人財の育成を目指す「いばらきP-TECH」や、学校図書館の情報センター機能を発揮した「探究的な学習」など、新しい時代へ対応する充実したキャリア教育・職業教育を実践していました。 ・ 実習では、生徒が技術を高めようと真剣かつ楽しそうに取り組んでいる姿が印象的でした。 ・ 職員との懇談では、専門高校の素晴らしい魅力をどのように中学生や保護者などに伝えていくかといった意見交換を行いました。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	取手市立取手西小学校
2 視 察 日	令和6年10月17日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 伊藤 誠 教頭 羽田 路彦 教諭 江崎 知菜 ほか (取手市教育委員会) 教育長 石塚 康英 (県南教育事務所) 学校教育課主査 本橋 和久
5 日 程	13:40~14:10 学校概要説明 14:15~15:00 授業参観等 15:10~15:30 学校職員との懇談
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○学校職員との懇談 
7 感 想 等	・CO2削減量の数値化や、テレプレゼンスロボットの活用など先進的な取組を行い、学ぶ楽しさと考える喜びを実感できる学校づくりを推進されていました。 また、取手市の施策であるサステナブル学習プロジェクトに取り組み、残食の肥料化による再利用や脱炭素チャレンジ広場への植樹など、児童の主体的な取り組みを推進していました。 ・授業参観では、児童が積極的に手をあげて、主体的に授業に参加し、のびのびと自由な学校の雰囲気を感じました。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立大子特別支援学校
2 視 察 日	令和6年10月22日（火）
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 大澤 宏規 教頭 神山 茂俊 教諭 飯村 由希子 ほか
5 日 程	10:10 ～ 10:30 学校概要説明 10:40 ～ 11:20 授業参観（小中学部の授業の様子） 11:30 ～ 12:00 学校職員との懇談 12:15 ～ 13:00 給食 ※小学部児童と会食
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○職員との懇談 
7 感想等	・「大子楮」など自然を活用した体験活動を実施するとともに、職業や家庭における資質、能力を育成する教育活動を展開していました。 ・子ども、保護者、教職員それぞれの「学びがい」「働きがい」「頼りがい」「生きがい」を推進するため、校長先生のリーダーシップのもと、教職員が誠意とスピード感を意識し、主体的に保護者や教員と連携を図っているとのお話が印象的でした。 ・授業では児童生徒の笑顔があふれていました。リアルな体験活動を通して、深い学びにつながってほしいです。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立結城第一高等学校
2 視 察 日	令和6年10月24日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子
4 出 席 者	校長 長久保 静江 教頭 柴山 佳美 ほか (一財)日本国際協力センター)長山 和夫 多文化共生事業部長
5 日 程	14:10~14:30 学校概要説明 14:30~15:10 授業参観(6時間目)・施設見学 15:10~15:20 清掃活動等参観 15:20~15:30 外国人生徒との懇談等 15:40~16:10 特別の教育課程「日本語指導」 16:10~16:30 意見交換等
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○施設見学  ○外国人生徒との懇談 
7 感 想 等	・外国人生徒等への支援として、筑波大学やNP0センター・コモンズ、JICEと連携し、日本語指導、生活指導など学習面と生活面から、一人一人を大切にする生徒支援体制を推進していました。 ・文化や常識が違うことを念頭に、日本人生徒と外国人生徒が互いに教え合い、学び合い、成長している様子をお聞きしました。 ・外国人生徒の日本語の習熟度に応じて、教職員が工夫をしながら授業や生活支援に取り組んでいる姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立海洋高等学校										
2 視 察 日	令和6年11月12日(火)										
3 視察委員	委員 富田 敬子										
4 出 席 者	校長 岡田 浩 教頭 工藤 直美 教諭 大塚 哲郎 ほか										
5 日 程	<table> <tr> <td>10:05~10:20</td><td>学校概要説明</td></tr> <tr> <td>10:20~10:40</td><td>海洋食品科「総合実習」授業参観等</td></tr> <tr> <td>10:50~11:10</td><td>海洋産業科「総合実習」授業参観等</td></tr> <tr> <td>11:10~11:40</td><td>海洋技術科「水産基礎」授業参観等</td></tr> <tr> <td>11:40~12:00</td><td>学校職員との懇談</td></tr> </table>	10:05~10:20	学校概要説明	10:20~10:40	海洋食品科「総合実習」授業参観等	10:50~11:10	海洋産業科「総合実習」授業参観等	11:10~11:40	海洋技術科「水産基礎」授業参観等	11:40~12:00	学校職員との懇談
10:05~10:20	学校概要説明										
10:20~10:40	海洋食品科「総合実習」授業参観等										
10:50~11:10	海洋産業科「総合実習」授業参観等										
11:10~11:40	海洋技術科「水産基礎」授業参観等										
11:40~12:00	学校職員との懇談										
6 視察状況	<table> <tr> <td>○授業参観</td><td>○授業参観</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td>○授業参観</td><td>○授業参観</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table>	○授業参観	○授業参観			○授業参観	○授業参観				
○授業参観	○授業参観										
											
○授業参観	○授業参観										
											
7 感想等	・県内唯一の水産・海洋系高等学校として、体験型の学びを数多く取り入れ、魅力ある水産教育を推進していました。 ・実習船、10m潜水プール、食品製造実習室のほか、先進的な操船シミュレーター装置など充実した施設・設備を有し、実践的な学習を展開していました。 ・水産業、海洋関連産業に従事するスペシャリストに向けて、生徒が生き生きと授業に取り組んでいる姿が印象的でした。										

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	潮来市立津知小学校
2 視 察 日	令和6年11月14日(木)
3 視察委員	委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 成井 紀英 教頭 山野 幹典 教諭 幸田 英男 ほか (潮来市教育委員会) 教育長 塙 誠一 学校教育指導室長 大里 俊一 (鹿行教育事務所) 学校教育課長 永尾 剛
5 日 程	10:20～10:40 学校概要説明など 10:45～11:25 授業参観等 11:30～12:00 学校職員との懇談など 12:00～12:50 給食
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○授業参観 
7 感 想 等	・「みんなが主役 みんなで学ぶ～あいあい大作戦～」を合言葉に、登校することが楽しみな学校づくりに取り組まれていました。 ・午前中5時間授業・1単位時間40分授業という独自の週時程により、学びの質の向上と教職員の働き方改革を推進していました。 ・2026年4月の学校統合に向けて、これからもどのようにつつ子を根付かせ、学校のいいところを残していくか、校長先生を中心に前向きに取り組まれている姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	茨城県立勝田中等教育学校
2 視 察 日	令和6年11月15日(金)
3 視察委員	委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 下山田 芳子 教頭 潮田 巧巳 教頭 上金 紀子 ほか
5 日 程	13:05~13:35 学校概要説明(校長:応接室) 13:40~14:35 授業参観(5時間目)・施設見学 14:50~15:30 学校職員との懇談(応接室)
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○施設見学  ○施設見学 
7 感 想 等	・時代の変化に合わせた教育活動を展開し、グローバルな視野と起業家精神を兼ね備え、世界と地域を結ぶことができる「人財」の育成に取り組んでいました。 ・体験を重視する「未来探究」プログラムを開発し、6年間を通して、教科学習と両輪で生徒たちが「ワクワク」しながら学びに向かうことができる工夫をしている様子をお聞きしました。 ・GCP(グローバル・コンピタンス・プログラム)の授業では、生徒がオールイングリッシュで授業に参加している姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	常陸太田市立瑞竜中学校
2 視 察 日	令和6年11月19日(火)
3 視察委員	委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 古内 勝紀 教頭 安島 英一 ほか (常陸太田市教育委員会) 教育長 滝 睦美 指導主事 森高 美緒 (県北教育事務所) 学校教育課長 横山 勉
5 日 程	10:10~10:30 学校概要説明など 10:35~11:20 授業視察等(7クラスの参観) 11:30~12:00 学校職員との懇談など
6 視察状況	○授業参観(2年)  ○授業参観(1年)  ○授業参観(3年)  ○学校職員との懇談 
7 感 想 等	・「共に高め合い、豊かな心を育み、誇りをもって生きる」という教育目標を掲げ、スローガン『「笑顔」と「ありがとう」を力に!』の下、学校運営に取り組まれていました。 ・生徒一人一人のよさを生かす教育活動を展開するため、学校評価により生徒の実態を把握し、評価が低い項目は、組織で改善を図っていることなどをお聞きしました。 ・生徒のよいところをよく観察して、本人に伝え自己肯定感を高めるという校長先生の言葉が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	北茨城市立常北中学校
2 視 察 日	令和6年11月29日(金)
3 視察委員	委員 幡谷 史朗
4 出 席 者	校長 小野 政美 教頭 深津 一郎 ほか (北茨城市教育委員会) 学校教育課長 岩間 英人 (県北教育事務所) 主任指導主事兼生徒指導班長 矢花 博之
5 日 程	10:00～10:25 学校概要説明 10:30～11:20 授業参観等 11:30～12:00 学校職員との懇談
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○施設見学  ○施設見学 
7 感 想 等	・他者そして自分を大切にするという生徒像を目指して学校運営や授業に取り組まれていました。 ・校内フリースクールを全職員で運営し、家庭訪問や放課後登校など、個に応じた支援を行っていることなどをお聞きしました。「生徒が学校に来やすくなるように、困っている生徒の悩みなどが解消できるよう前向きに取り組んでいる。」という先生の言葉が印象的でした。 ・学校の姿が変わっていく中で、先生たちが子ども達に真摯に向き合っていることをありがたく感じました。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	水戸市立千波中学校
2 視 察 日	令和7年2月12日(水)
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 庄司 一子 委員 伊藤 道子 委員 森 淳一
4 出 席 者	校長 齋田 由加理 教頭 佐川 秀文 主幹教諭 大津 裕明 ほか (水戸市総合教育研究所) 副参事 吉野 直美 指導主事 吉川 裕之 (水戸教育事務所) 主任指導主事兼生徒指導班長 和田 尚志
5 日 程	13:50~14:20 学校概要説明 14:30~15:00 授業参観 15:10~15:40 学校職員との懇談
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○学校職員との懇談 
7 感 想 等	・校内フリースクール「千波のほとり」を設置し、安全安心な居場所の確保、学習機会の保障、社会で生きる力を育むことをテーマに、生徒一人一人に応じた支援体制の構築に取り組まれていました。 ・また、特別活動として、地域企業と連携し、千波麦酒やコラボスイーツ作成の取組を行っていました。体験活動を通して学びを深めていってほしいです。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	城里町立常北中学校
2 視 察 日	令和7年2月13日(木)
3 視察委員	委員 富田 敬子 委員 庄司 一子 委員 伊藤 道子 委員 森 淳一
4 出 席 者	校長 鈴木 勝 教頭 佐川 正久 ほか (城里町教育委員会) 教育長 添田 智 指導主事 鈴木 里佳 (水戸教育事務所) 主任指導主事兼生徒指導班長 和田 尚志
5 日 程	13:00～13:30 学校概要説明など 13:40～14:15 授業参観等(1、2年生) 14:25～15:00 学校職員との懇談
6 視察状況	○授業参観  ○授業参観  ○授業参観  ○学校職員との懇談 
7 感 想 等	・「子どもが学校に来ることは当たり前ではない」ことを念頭に、校長先生を中心に、生徒も教職員もみんなが「明日もまた来なくなる学校づくり」に取り組んでいました。 ・校内フリースクールの設置により、保健室と役割の分担ができたことが大きいといった声をお聞きしました。 ・部活動も優秀な成果を残している学校で、授業も生徒が和気あいあいと取り組んでいる姿が印象的でした。

学 校 視 察 報 告 書

1 視 察 校	県立大子清流高等学校
2 視 察 日	令和7年2月19日(水)
3 視察委員	委員 庄司 一子 委員 森 淳一
4 出 席 者	校長 細貝 雅之 教頭 菊池 克明 ほか (株式会社FoundingBase) 教育事業部大子町グループ 平石 慶太 氏
5 日 程	10:00~10:15 学校概要説明 10:15~10:40 公営塾視察 10:45~11:30 授業参観 11:35~12:00 学校職員との懇談
6 視察状況	○公営塾視察  ○授業参観  ○授業参観  ○授業参観 
7 感 想 等	・ 少子化という社会の変化に対して、学校、町、企業が一体となって、高校の魅力向上に取り組んでいました。 ・ 学校の合宿所に開塾した公営塾「ことのぼ」のほか、個々のレベルに合わせて、生徒一人一人に対する支援が充実し、生徒と教職員やサポーターの距離が近くに感じました。 ・ 大子町の豊かな自然や多様な産業を活用し、ここでしかできない実践的・体験的な学びを推進している学校でした。